

# 台風被害を乗り越えて 「龍泉洞」再開

杉山 晶 (SUGIYAMA, Aki 地底旅団 ROVER 元老院所属 岩手県在住)

復活したドラゴンブルーの第3地底湖

## 1. はじめに

岩手県下閉伊郡岩泉町にあり、世界有数の透明度を誇る地底湖が有名な観光洞「龍泉洞」。その神秘的な青色は、洞窟の名前にちなんで「ドラゴンブルー」と例えられることもあります。

龍泉洞は山口県「秋芳洞」、高知県「龍河洞」と並んで日本三大鍾乳洞の一つとされており、1942(昭和17)年「岩泉湧窟(わくくつ)及び蝙蝠」として国の天然記念物にも指定されました。清涼と神秘の美しさを求めて毎年多くの観光客が訪れ、台風被害前は約17万人が訪れていました。日本洞穴学研究所による調査研究が進められています。昨年8月に発生した台風第10号豪雨災害により大きな被害を受けて閉洞していましたが、今春に営業再開することとなりました。

## 2. 台風第10号による岩泉町の被害

2016(平成28)年台風10号は、8月30日(火)18時頃に岩手県大船渡市付近に上陸。30日夕方から31日(水)未明にかけて岩手県沿岸部に局地的で猛烈な雨を降らせました。岩泉町では先がけである台風第9号や低気圧による降水で川が増水し、山の保水力が弱まっていたところ、短時間で被害は増大。豪雨により川や沢は氾濫し、道路は寸断され、本州一大きな町は分断されてしまいました。岩泉町、久慈市、宮古市を中心として甚大な被害をもたらし、特に岩泉町は死者20名という大きな被害となりました。

当初は物資の調達もままならず、電気や水道などのライフラインも復旧の目処が立たない状況でした。すべての集落の孤立が解消したのは3週間ほど経過した9月19日。現在も主要道路である国道455線や国道45号線は片側交互通行の場所があったり、道々には撤去されないままの瓦礫があったりと、大きな爪跡が残っています。



冠水する道路(8月31日撮影)



雪のなか第二駐車場の復旧作業に励む(2月6日撮影)